

しづや
おすすめの本50
2023

せかい し
世界を知る

さいじ
4・5歳児の みなさん

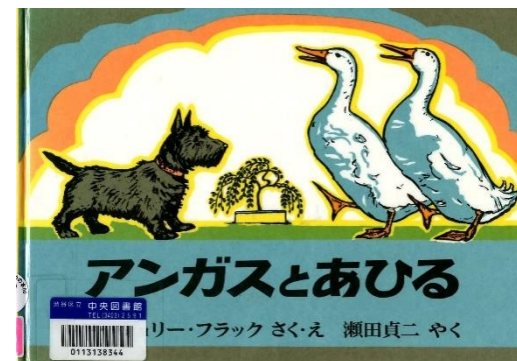
*・・・2023年にあたらしく入った本

「しづや おすすめの本50」2023は、「世界を知る」をテーマに本をえらびました。

世界には、わたしたちの知らないことがたくさんあります。はじめて見る生きものや、きょうのおやつがどうやってできているか？友だちがどんなことをかかんがえているかを知ることも、「世界を知る」ことにつながるでしょう。

あたらしいことを知ることは楽しいことです。楽しい本にであえますように！

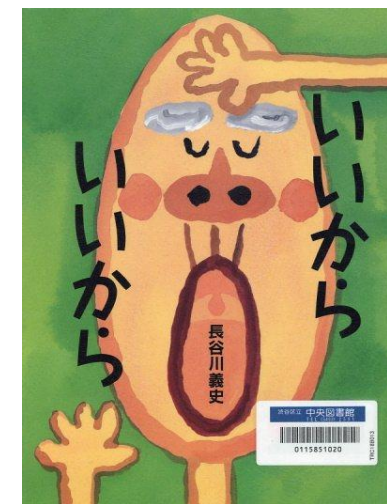
アンガスとあひる



マージョリー・フラック さく え／瀬田 貞二 やく
福音館書店

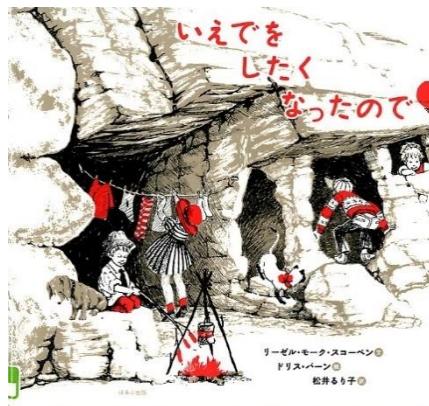
こいぬのアンガスは、みるものかぐもの、なんでもしりたがりの いぬでした。でもいちばんしりたかったのは、にわのいけがきの むこうがわのこと。あるひ、いけがきの むこうがわにでてみると…さあ、たいへん！

いいからいいから 1



ほせがわ よしふみ
長谷川 義史
絵本館

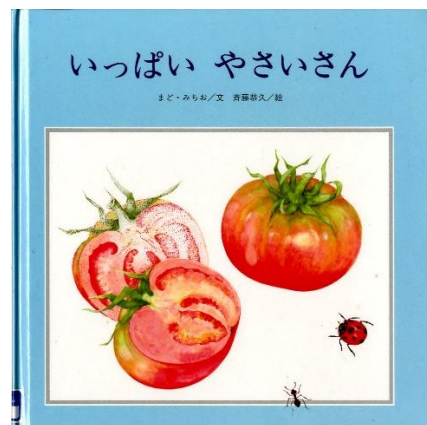
いつでも「いいから、いいから」が口ぐせのおじいちゃん。かみなりのおやこが家に来て、「いいから、いいから。せっかくきてくださったんじゃ。ゆっくりしてください」でも、かみなりのおやこがかえったあと、たいへんなことにきがついた！



いえでをしなくなったので

リーゼル・モーク・スコープン 文 / ドリス・バーン 絵
 松井 るり子 訳 / ほるぷ出版

いえでをしなくなったので、にもつをまとめて、さあ出発。4人のきょうだいは、だいすきな場所へむかいます。ところがあそこでも、ここでも、こまったことが…。おちつく場所はあるのでしょうか？少しずつふえていくおみやげにも注目です。



いっぱい やさいさん

まど・みちお 文 / 斉藤 恭久 絵
 至光社

きゅうりさん、にんじんさん、なすびさん…やさいさんたちは、じぶんのよいところが大きいで、いのちをかがやかせて生きています。虫たちもやさしい目でやさいさんを見つめています。やさしくて、しあわせな気もちになれる絵本です。



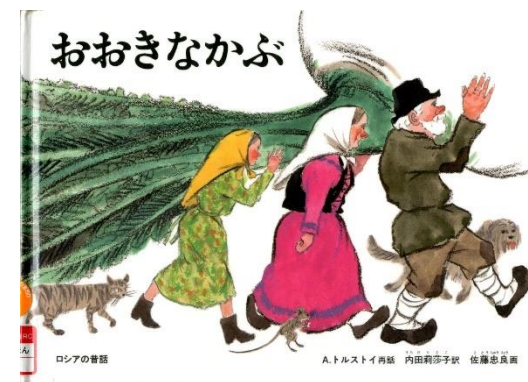
おうさまのこどもたち

みうら たろう
 三浦 太郎
 偕成社

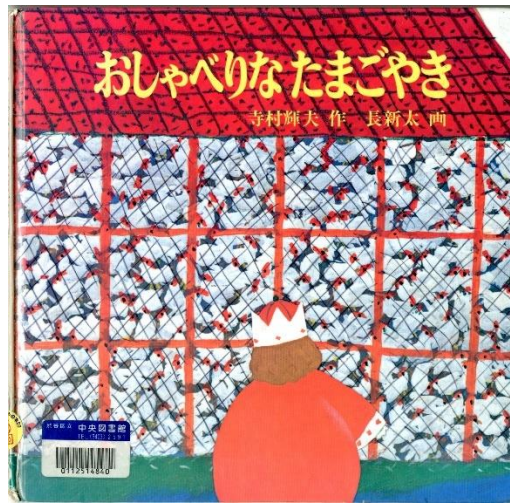
おうさまとお姫様には10人の子どもがいました。大きくなった子どもたちに、おうさまは「わが王国をひきつぐ者をきめようと思う。どのように国をおさめればよいかかんがえてみなさい」といいました。さて、10人の子どもたちはどうしたのでしょうか？

おおきなかぶ

ロシアの昔話



A.トルストイ 再話 / 内田 莉沙子 訳 / 佐藤 忠良 画 / 福音館書店
 おじいさんが植えたかぶが大きくなりました。おじいさんがひっぱってもぬけません。おばあさん、孫、犬、ネコ、ネズミとみんなでひっぱります。「うんとこしょ、どっこいしょ」かぶはぬけるかな？



おしゃべりなたまごやき

寺村 輝夫 作 / 長 新太 画
福音館書店

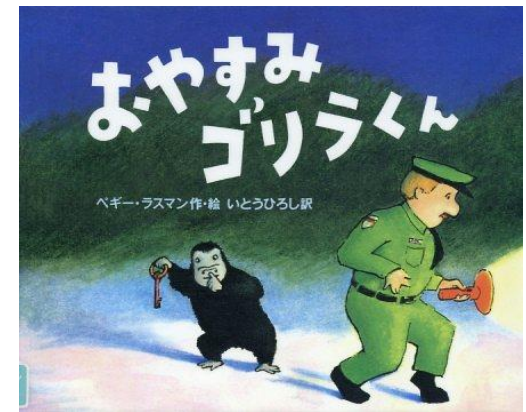
ある国で、たくさんのにわとりがお城中しりじゅうににげだしました。だれかが鳥小屋の戸とをあけたのです。犯人はみつかりません。じつは王さまがにがしたのです。1わのめんどりだけが、それを知っていました。



おなべおなべ にえたかな？

こいで やすこ さく
福音館書店

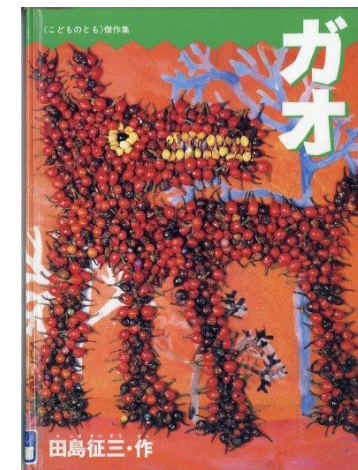
きつねのきつこと、いたちのちいと には、おばあちゃんにスープのぼんをたのまれました。「おなべおなべ にえたかな？」ときくと、おなべは「にえたかどうか たべてみよ」といいます。そこで3人は、あじみにんをしてみることにしました。



おやすみゴリラくん

ペギー・ラスマン 作 絵 / いとう ひろし 訳
徳間書店

夜のどうぶつえん。かんりにんのおじさんが、どうぶつたちに おやすみのあいさつをしてみわります。するとゴリラくんが、こっそりかぎをぬきとり、おじさんのうしろからどうぶつたちのおりをあけていきました。外そとに出たどうぶつたちは…。

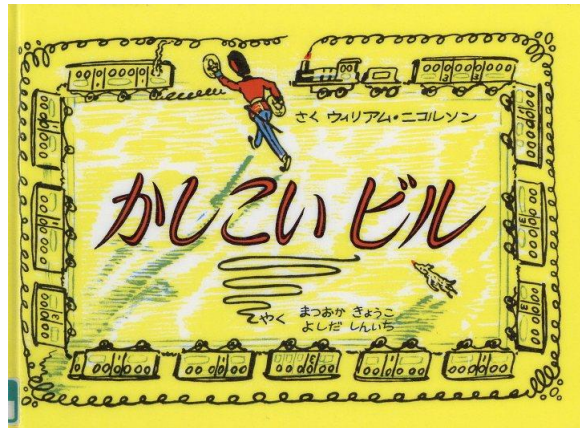


ガオ

田島 征三 作
福音館書店

やまいぬはげんきいっぱい。あるとき大おお声でほえると、からだは6ぴきのへびにかわり、からだからとびでたげんきは、おそろしい鳥とりになった。木の実をつかって、どんだんかたちかたちがかわるやまいぬの絵え。やまいぬのげんきがつたわってくる絵本えほんです。

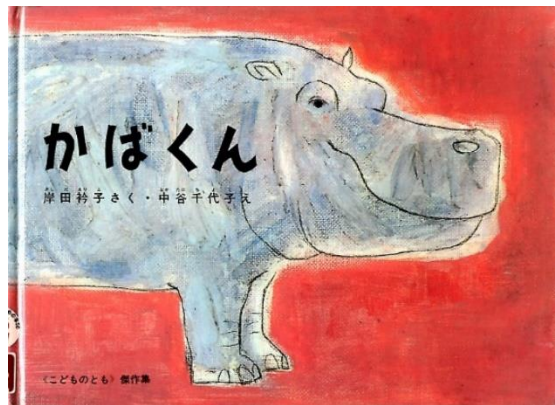
かしこいビル



さく ウィリアム・ニコルソン

やく まつおか きょうこ よしだ しんいち／ペンギン社
メリーはおばさんに会いに行くために、したくを始めます。しかし大切にしている人形のビルをわすれてしまいました。かしこいビルはメリーにおいつくために走って走って…。はたしてビルは、メリーのもとに行くことができるのでしょうか。

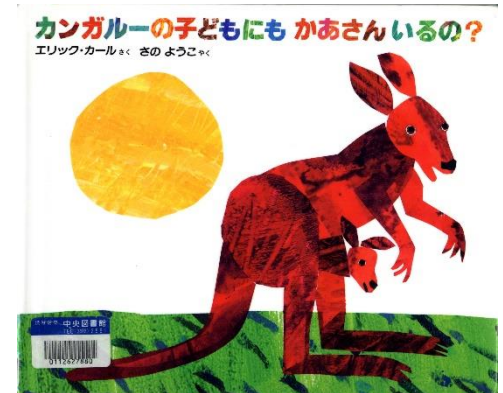
かぼくん



きしだ せりこ さく／中谷 千代子 え
福音館書店

どうぶつえんに朝がきた。大きなかぼくと、小さなかめくんは なかよし。きょうも、なにかおはなししているよ。日ようびはなんだかさわがしい。だつてね、みんながあそびに来るんだもん。かぼくに会ったことあるかな？

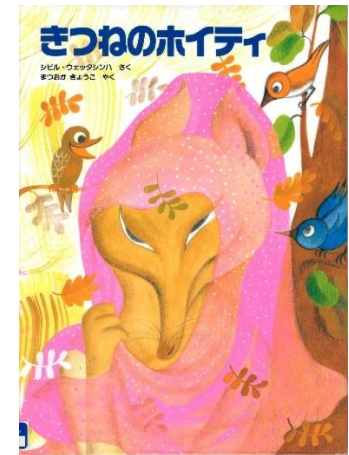
カンガルーの子どもにもかあさんいるの？



エリック・カール さく／さの ようこ やく
楷成社

かあさん、ぼくにはかあさんがいるけど、カンガルーの子どもにもかあさんいるの？ライオンの子どもにもかあさんいるの？それから、キリンの子どもやペンギンの子どもは、どうなのかなあ？

きつねのホイティ

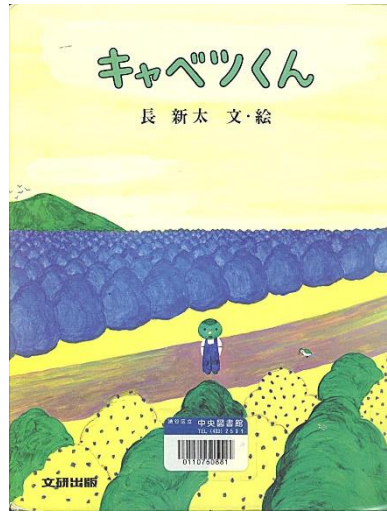


シビル・ウェッタシンハ さく
まつおか きょうこ やく／福音館書店

スリランカのちいさな村にすむ3人のおかみさんと、村はずれにすむくいしんぼうぎつねのホイティ。ホイティは人間にばけて、それぞれのおかみさんの家にいき、ごはんをごちそうになります。人間をだましたととくいになるホイティですが…。

キャベツくん

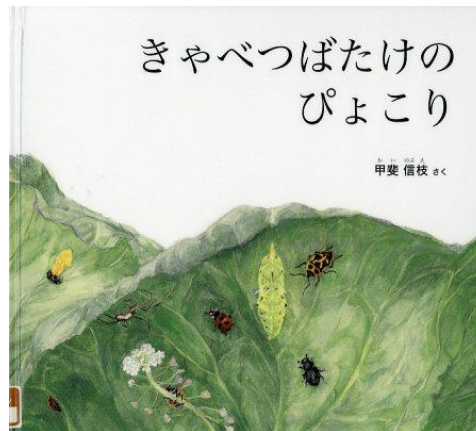
ちよう しんた ぶん え
長 新太 文 絵
ぶんけんしゅつぱん
文研出版



おなかをすかせたブタヤマさんが、キャベツくんを食べようとすると、「ぼくを食べるとキャベツになるよ」といわれました。「ブキャ！」ブタヤマさんはびっくりすることばかり。ブタヤマさんとキャベツくんのやりとりが楽しい絵本。

きゃべつばたけの ぴよこり

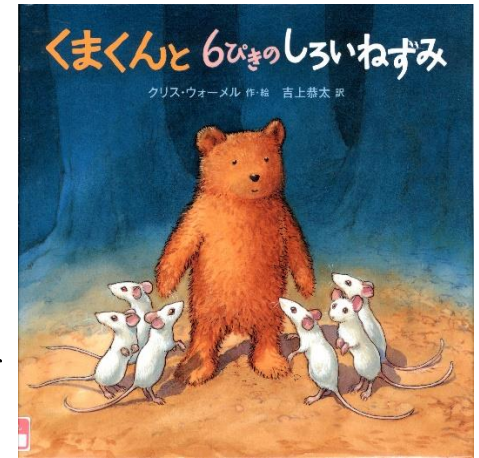
かい のぶえ さく
甲斐 信枝 さく
ふくいんかんしよてん
福音館書店



きゃべつのはっぱにふしぎなかたちのものがくっついていきます。アリアがつくと「ぴよこり」。カメムシがたたくと「ぴよこり」。どうやら生きているみたい。朝になると、とつぜんぴよこりのせなかがさけて、1ぴきのチョウがでてきました。

くまくんと6ぴきのしろいねずみ

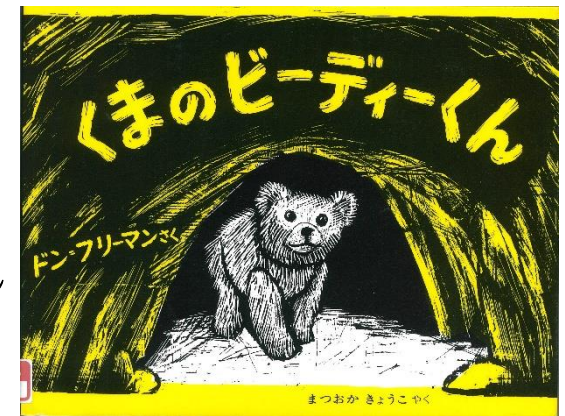
クリス・ウォーメル 作 絵
よしがみ きょうた やく とくましよてん
吉上 恭太 訳/徳間書店



くまくんはもりで6ぴきのしろいねずみにあいました。「たすけて、ぼくたちふくろうや きつねやへびに たべられちゃう！」とねずみたちがいったとき、「ホー、ホー」とふくろうのこえがちがづいてきました。

* くまのビーディーくん

ドン=フリーマン さく
まつおか きょうこ やく/偕成社



ゼンマイじかけのくまのビーディーくんは、なかよしのセイヤーくんがるすのあいだに、ひとりでほらあなに出かけてゆきます。そして「しあわせなきもちになるもの」をさがすのですが…。ビーディーくんは、みつげられるのでしょうか？

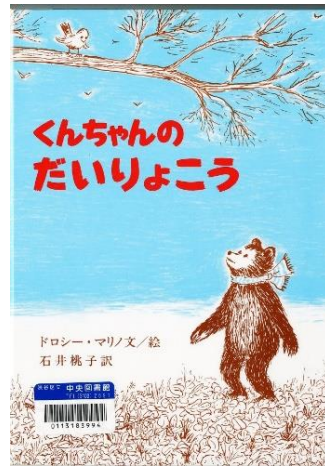


クリスティーナとおおきな はこ

パトリア・リー・ゴーチ 作 / ドリス・バーン 絵

おびか ゆうこ 訳 / 偕成社

クリスティーナははこが大すき。ある日、れいぞうこが入っていた大きなはこで、おしろをつくりました。おしろがこわされると、こんどはひみつきち。おとなりのファッツといっしょに、次々といろいろなものをつくっていきます。

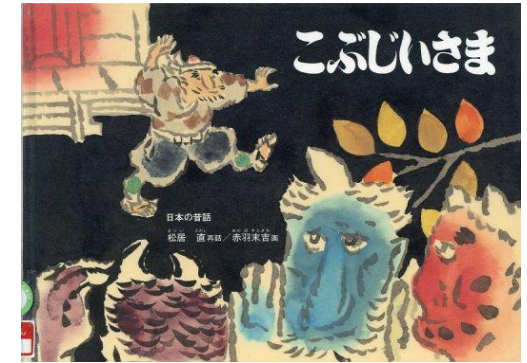


くんちゃんのだいらょこう

ドロシー・マリノ 文 絵

いしい ももこ 訳 / 岩波書店

こぐまのくんちゃんはある日さんぽにでかけ、みなみの国にとんで行く鳥たちに会いました。「ぼくもいきたい。」と、じゅんぴをしますが、わすれものをしてしまいます。ほんとうにくんちゃんは行ってしまうのでしょうか。

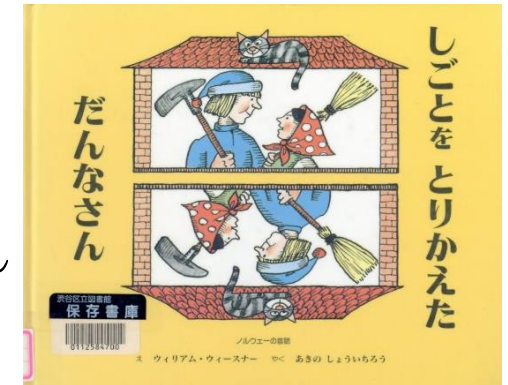


こぶじいさま

にほん むかしばなし
日本の昔話

まつい ただし さいわ あかば すえきち え ふくいんかんしよてん
松居 直 再話 / 赤羽 末吉 画 / 福音館書店

ひたいにおおきなこぶのあるじいさまは、ある日、山へ木をきりにいって、かえれなくなりました。しかたがないので、かみさまのおどうでねていると、なんとよなかにおおぜいのおにがあつまってきた。



しごとをと리카えただんなさん

むかしばなし
ノルウェーの昔話

え ウィリアム・ウィースナー

やく あきの しょういちろう / 童話館出版

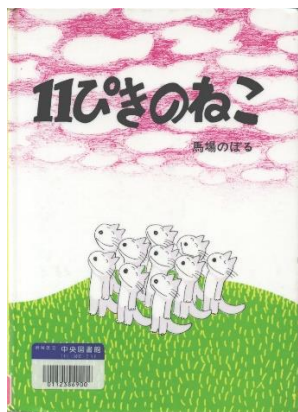
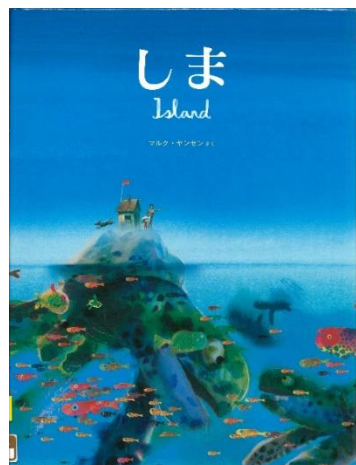
むかし、わかいお百姓の夫婦がいました。ある日、つかれて畑仕事からかえってきただんなさんは、家の仕事の方がらくそうだと言ひだし、おかみさんと仕事を交代することに。はりきって家の仕事をはじめただんなさんですが、うまくいくのでしょうか？

* し ま

マルク・ヤンセン さく

福音館書店

うみで犬あらしのあった2人と1ぴきが、たどりついたのは、ちいさなしま。
そのしまは、じつはカメのせなかでした。2人と1ぴきは、「しま」にのって、
しろくまやあざやかなとりたちに出会ったりします。そして、たびのさいご
には…。

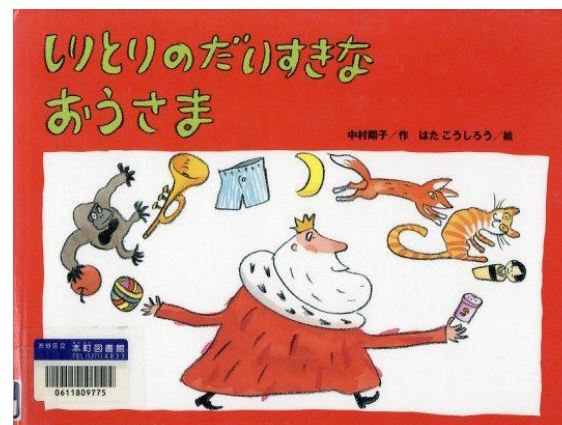


11ぴきのねこ

馬場 のぼる

こぐま社

いつもおなががペコペコの11匹のらねこたちは、山のむこうの広いみず
うみにすむかいぶつをつかまえに行きました。やっと見つけたかいぶつは、
とても強くてつかまえられません。のらねこたちの、ゆかいなぼうけんの本
です。



しりとりのだいすきなおうさま

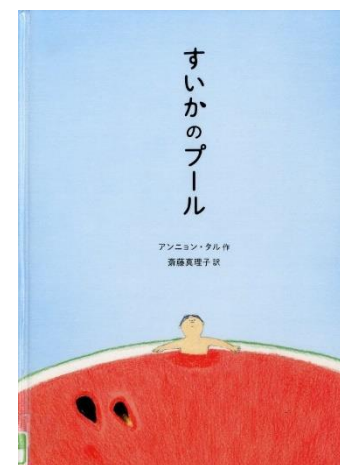
中村 翔子 作 / はた こうしろう 絵
鈴木出版

しりとりが大好きなおうさまは、なんでもしりとりにならないと気がす
みません。食事も、しり通りのじゅんばんに料理を出して、さいごはプリン
で終わらないとおおあばれ！こまったけらいたちは、そうだんをはじめました。

すいかのプール

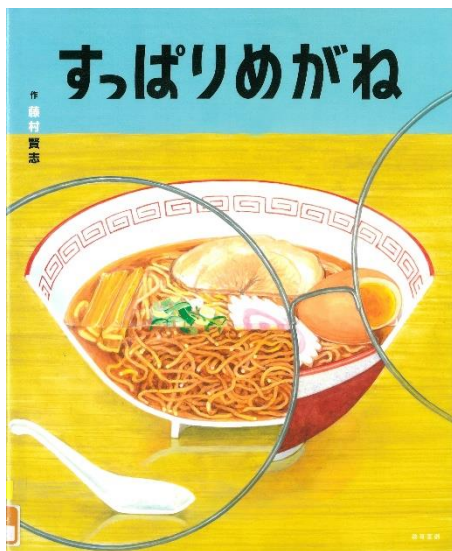
アンニョン・タル 作 / 斎藤 真理子 訳
岩波書店

夏はすいかのきせつです。みんなが楽しみにしているのは…すいかのプー
ル！半分にわった巨大なすいかがプールになるのです。タネをとって肩まで
つかれば、あ～きもちいい。葉っぱからの飛び込みや、すべりだいも楽しい
よ。はやく夏がこないかな。



* すっぱりめがね

きく 藤村 賢志
きょういくがげき
教育画劇



「すっぱりめがね」って何でしょう？この本にでてくる「すっぱり」は皆さんの身近にあるものを「すっぱり」切つて中のようすがわかる「めがね」です。さて、皆さんの知っている身近なものの中は、いったいどうなっているのかな？

せかいいちおいしいスープ

マーシャ・ブラウン 文 絵
こみや ゆう 訳／岩波書店



せんそうがおわり、ふるさとへかえる3人のへいたいたち。はらぺこで へとへとですが、ある村では、たべものも、ベッドもわけてもらえませんでした。そこで3人は石のスープをつくりはじめます。

* せかいでいちばんのぼしょ

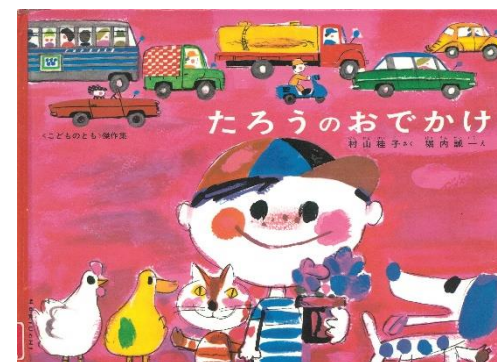
ペトル・ホラチェック さく
いわじょう よしひと やく／BL出版



「ぼくらはらっぱはせかいでいちばんのぼしょかな？」ある日、野うさぎは友達にききました。みんなは「もちろん」と言いましたが、みみずくだけは「じぶんでたしかめてみたら？」というので、野うさぎは、こたえをさがすたびにできました。

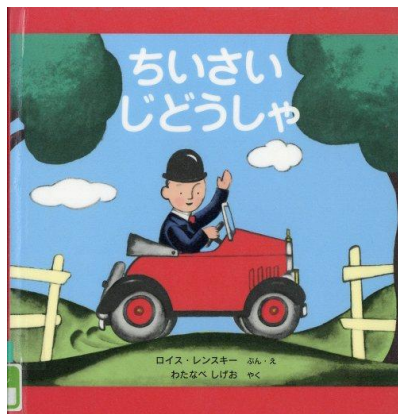
* たろうのおでかけ

むらやま けいこ さく／堀内 誠一 え
ふくいんかんしよてん
福音館書店



たろうは、なかよしのまみちゃんの誕生日に、すみれの花とアイスクリームをもって、動物たちと一緒にでかけます。うれしくてかけだしますが、町の中は危険がいっぱい。さあ、無事にまみちゃんの家に行くことは、できるかな？

ちいさいじどうしゃ

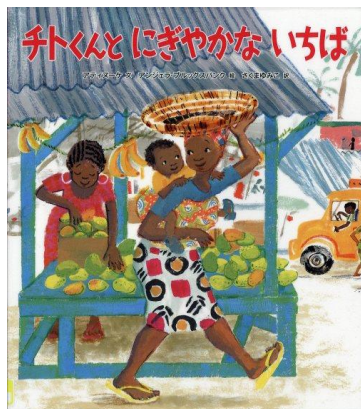


ロイス・レンスキー ぶん え／わたなべ しげお やく

福音館書店

てんきのいい日、スモールさんはごじまんのじどうしゃでドライブにでかけます。じゅんぴをととのえて、スモールさんといっしょにしゅっぱつ！ちいさいじどうしゃがはしるみちには、どんなことがまちうけているのでしょうか。

チトくと にぎやかないちば

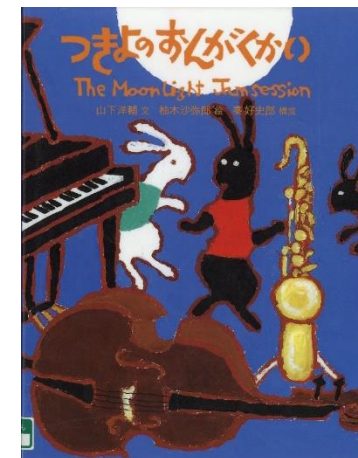


アティヌーケ ぶん アンジェラ・ブルックスバンク 絵

さくま ゆみこ 訳／徳間書店

おかあさんにおんぶされていちばにやってきたチトくん。バナナを6本もらったので、1本食べて、のこりはおかあさんのかごへ。オレンジを5こもらい、1こ食べてのこりをおかあさんのかごへ。おかしもトウモロコシも…。おかあさんは気づきません。

つきよのおんがくかい



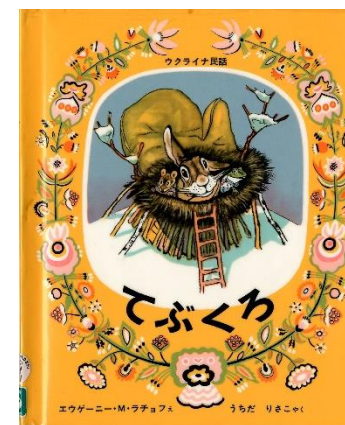
やました ようすけ ぶん 柚木 さみろう 絵 秦 好史郎 構成

福音館書店

こうちゃんは満月を見るために山に登りました。そこで出会ったのは、ピアノをかついだクマ、ベースをもったウマ、ドラムをもったネコ、サクソをもったイヌ。すてきな音楽会がはじまりました。たのしい音に、思わずおどりだしたくなるお話です。

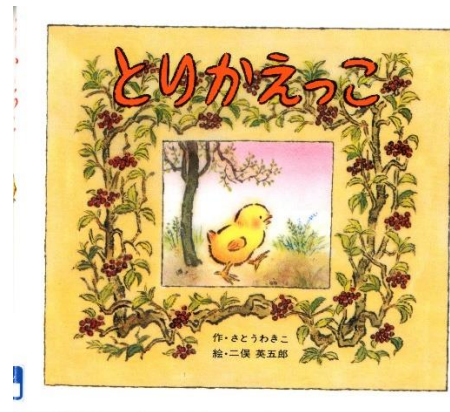
てぶくろ

ウクライナ民話



エウゲーニー・M・ラチョフ え／うちだ りさこ やく／福音館書店
雪のある日、おじいさんは森でてぶくろを片ほう落としてしまいました。そこへ、ねずみがやってきて「ここでくらすことにするわ」と言いました。すると、次から次へ動物たちがやってきて、てぶくろは、やがてまんいんに。

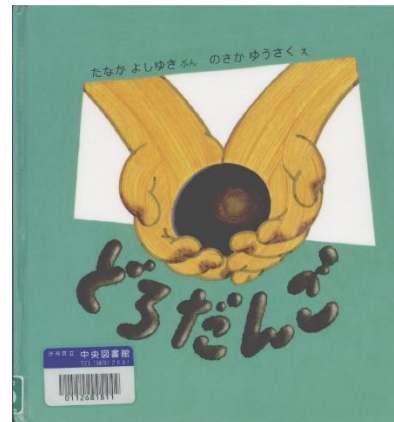
とりかえっこ



作 さとう わきこ／絵 二俣 英五郎
ポプラ社

「ぴよ、ぴよ」となきながらあそびに出かけたひよこ。とちゅうで出会った動物たちとなき声を取りかえっこします。ねこに「たべちゃうぞ」といわれども「ワン、ワン」となくと、ねこはびっくり。つぎに出会ったのはかめ。どんななき声になるのかな？

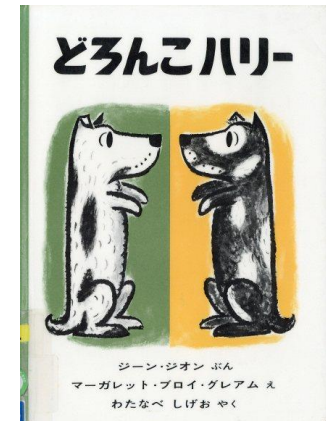
どろだんご



たなか よしゆき ぶん／のさか ゆうさく え
福音館書店

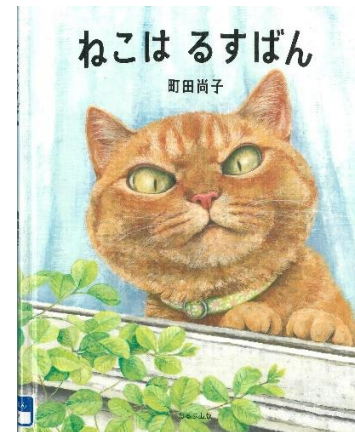
どろあそびって、とてもふしぎ。どろがスープになったり、てぶくろになったり。そして、なんととってもどろだんご作り。じょうずにつくってさかのうからころがしっこをしよう。われたら負けだよ！コロコロコロ。

どろんこハリー



ジーン・ジオン ぶん／マーガレット・ブローイ・グレアム え
わたなべ しげお やく／福音館書店

黒いぶちのある白い犬ハリーは、おふろが大きらい。ある日、どろんこまみれでまっ黒になったハリーが家にかえると、だれもハリーとは気づいてくれません。こまったハリーはあることを思いつきます。



* ねこはるすばん

まちだ なおこ／ほるぷ出版

ねこは人間と一緒にくらしています。人間がでかけると、ねこはるすばんです、と思ったら、ねこはカフェやヘアーサロンへむかいます。さあ、次はどこに行くのでしょうか。ねこのるすばんは、いそがしい！

ねずみくんのチョコッキ

作 なかえ よしを / 絵 上野 紀子
ポプラ社

ねずみくんのお気に入りには、おかあさんがあんでくれたチョコッキ。「いいチョコッキだね」といわれて、みんなに着せてあげていたら、どんどのびてしまいました。でもさいごにねずみくんのチョコッキは、すてきなものになりましたよ。



のろまなローラー

こいで しょうご さく / やまもと ただよし
福音館書店

ローラーが重い車をころがして道をなおしていると、「じゃまだよ、じゃまだよ。どいたり どいたり」。トラックがローラーを追いこします。ほかの車もローラーを追いこしていきます。ところが坂道になると、さっきのトラックが止まっていた。



びくびくビリー

アンソニー・ブラウン さく
灰島 かり やく / ひょうろんしゃ 評論社

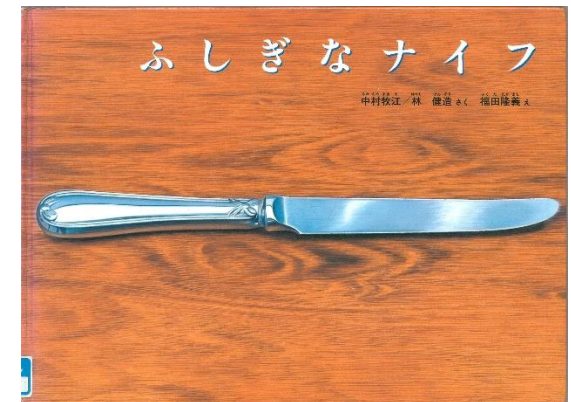
ビリーはしんばいばかりしています。パパやママがなぐさめても、なおりません。そこでおばあちゃんが「しんばいひきうけにんぎょう」をくれました。ビリーのしんばいをひきうけてくれる人形です。ところがこんどは、その人形のことがしんばいに…。



* ふしぎなナイフ

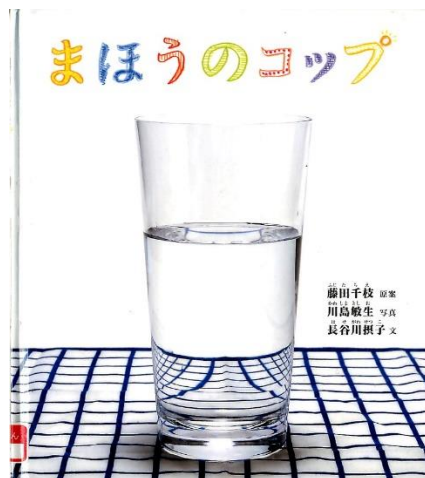
なかむら まきえ はやし けんぞう さく
福田 たかよし え / 福音館書店

ハンバーグやステーキを食べるときに使うナイフ。あなたのおうちにもあるかしら？そのかたいナイフが、曲がる、折れる、ほどける、ちぎれる？ページをめくるたびにワクワク、「え！」とおどろく世界がひろがります。さて次は、どうなるのかな？



まほうのコップ

藤田 千枝 原案 / 川島 敏生 写真
長谷川 摂子 文 / 福音館書店



コップのなかに水をいれたら、まほうのコップのできあがり。コップのむこうにバナナやフォークをおいたら、どんなふうに見えるかな？まほうのコップをつかって、いろいろなものを見てみよう。おどろきがいっぱいのえほんです。

* みずたまレンズ

今森 光彦 さく
福音館書店

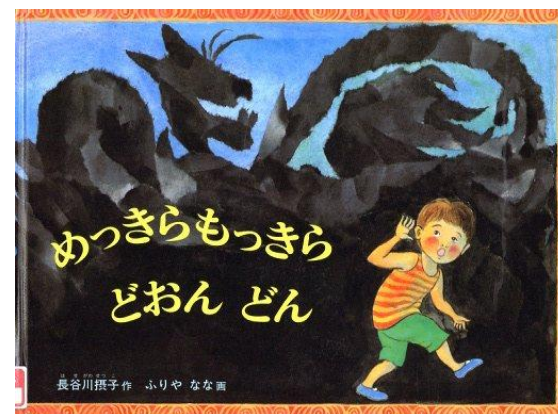


雨がふったあと、そとにさいている花やはっぱについた水のたまをのぞいたことがありますか？この本は、ふしぎなみずたまのせかいを、きれいな写真でしょうかいしています。よんだあと、きっとじぶんの目でたしかめてみたくなることでしょう。

めつきらもつきら どおんどん

長谷川 摂子 作 / ふりや なな 画
福音館書店

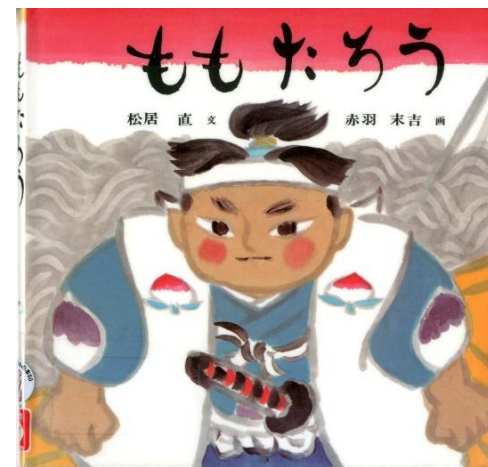
神社であなにすいこまれた かんた。へんてこりんな名前の3人のおばけに出会います。「もんもんびやっこ」に「しっかかもっかか」そして「おたからまんちん」。かんたと おばけたちは楽しく遊びます。



ももたろう

松居 直文 / 赤羽 末吉 画
福音館書店

おばあさんが川でせんたくをしていると、大きなももが流れてきました。中から元気なももたろうが生まれ、おじいさん、おばあさんは大切にそだてます。大きくなったももたろうは、鬼たいじにでかけることになりました。



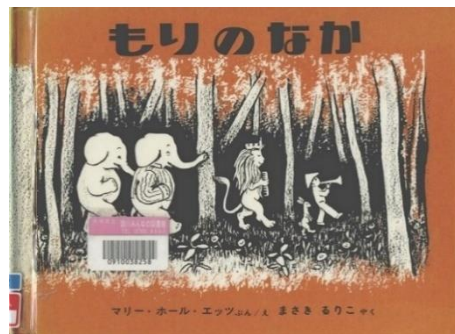


もりいちばんのおともだち

おおきなクマさんとちいさなヤマネくん

ふくざわ ゆみこ さく／福音館書店

ちい
さな
な
もの
が
す
き
な
ク
マ
さ
ん
と、
お
お
き
な
な
もの
が
す
き
な
ヤ
マ
ネ
く
ん。
ふ
た
り
は、
も
り
で
い
ち
ば
ん
の
な
か
よ
し
で
す。
あ
る
日、
ふ
た
り
が
ケ
ー
キ
屋
さ
ん
で
も
ら
っ
た
な
え
を
そ
だ
て
と、
ど
ん
ど
ん
お
お
き
く
な
っ
て
は
な
が
た
く
さ
ん
さ
い
て
そ
し
て
…。

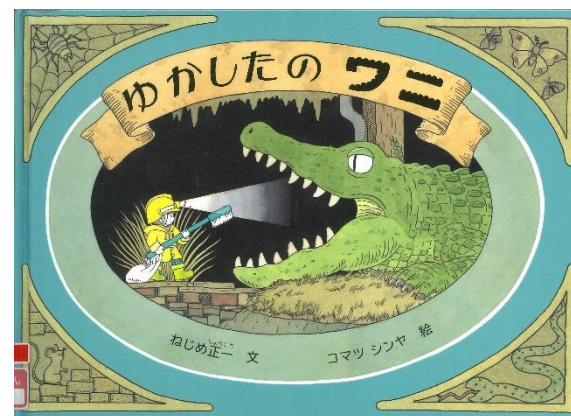


もりのなか

マリー・ホール・エッツ ぶん え

まさき るりこ やく／福音館書店

ぼくがもりのなかでさんぽをしていると、おおきなライオンにであいました。「かみをとかしたら、ぼくもついていっていい？」と言って、かみをとかしたライオンは、さんぽについてきました。つぎにであったのは、2ひきのぞうの子どもでした。

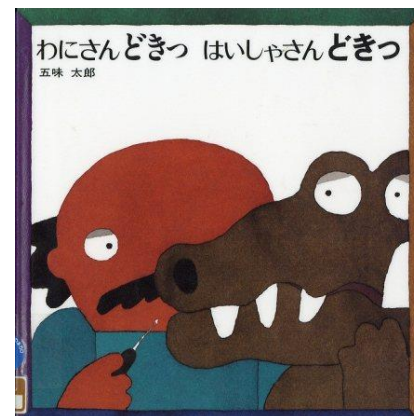


* ゆかしたのワニ

ねじめ 正一 ぶん / コマツ シンヤ 絵

福音館書店

ぼくは、よるになると、ワニのハミガキをするために、ゆかしたへでかけます。口を、あーんと大きくあけたワニのあごに、つかえぼうをして、いろいろな工夫をしながら、じょうずにみがいてあげます。



わにさんどきつ はいしゃさんどきつ

ごみ たらう

偕成社

わにさんは、はがいたくなって、はいしゃさんにいきました。はいしゃさんは、わにがきたので、びっくり！わにさんは、はいしゃさんがこわいけど、はいしゃさんも、わにがこわい。わにさんのむしばをなおせるかな？